

2018
7月27日
金曜日

建設新聞

発行所 建設新聞社

本社	仙台市青葉区春日町7-5	TEL022(221)4601(大代)
青森支局	青森市古川1丁目21-11	TEL017(722)8631(代)
岩手支局	盛岡市菜園1丁目3-6	TEL019(651)8045(代)
秋田支局	秋田市山王4丁目3-10	TEL018(862)6921(代)
山形支局	山形市松波1丁目10-16	TEL023(641)2800(代)
福島支局	福島市宮下町17-20	TEL024(534)0138(代)
東京支局	東京都江東区豊洲1-3-1	TEL03(5547)1367



対人

現場を知り尽くす強み生かして

共立建設執行役員東北支店長に就任した

門間 喜美男氏

◎……「復興需要の収束などで逆風が吹く中にある。あつても、明るく元気のよい支店づくりを目指す」と第一声。入社以来、ほぼ一貫して東北で勤務し現場を知り尽くしている強みと、企画部門で培ってきた利益を生み出すノウハウを支店全体の舵取りに生かしていく

◎……東北の中心都市である仙台の業況については「国の補助を受けた水産関連施設などの建設が減り、マンションも資材などのコスト上昇で一部地域を除き一服感が出ている」と分析。その上で「NTTを母体とする当社にとって、NTT

関連の工事は大切なもの。加えて、老人福祉施設、ホテルなどの建設需要を掘り起こす。老朽化した建

物が増えてくることを見据え、リニューアルにも力を注いでいく」と意欲を示す。

◎……「このままでは建設業界で働く人間がいなくなってしまう」との危機感から、働き方改革を積極的に推進する考え。「昨年度から東北支店が担当する現場の半分以上で4週6休を試みており、来年度にはその割合を8割にしたい。その後4週8休を目指す」方針で、「その実現には、顧客や協力会社の理解と協力が欠かせない」と訴える。

◎……生産性向上をめ

くつては「設計段階からBIMを積極的に活用するほか、新技術の開発・導入を進める。現場ではドローンによる測量などにも取り組んでいる。できる限り業務を省力化してコストを削減すること、働く人の収入が増えるようにしたい」と力を込める。

◎……仙台市立仙台工業高等学校建築科を卒業後、1973年共立建設入社。東北支店企画調整部主幹技師、企画調整部長、執行役員副支店長などを経て、6月26日から現職。何事にも真摯(しんし)に取り組み姿勢を大切し、「建設業の魅力をもっと知ってほしい」と考えている。

※ ※ ※

もんま・きみお 1955年 生まれ。宮城県山元町出身。趣味は野菜作りとゴルフ。63歳。